

令和3年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策)
事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和3年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R2	R3	R4		
北海道	寿都町	寿都町	●	●	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である竹ノ内 久から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

株式会社コムズワーク代表取締役/農業生産法人コムズファーム代表取締役 竹ノ内 久

【意見聴取の概要】

事業目標の3つの成果指標のうち、1つは50%の達成にとどまったが、政策的な事情が大きいと思われるため、致し方ないと思われる。残り2つについては100%以上を達成していることから、優良と評価する。

また、商品開発において、町外へのOEMに安易に走りがちな事例が散見されるなか、地元での開発にこだわり、協力事業者を見つけ出した点、また民間の事業者独自の積極的な商品開発を誘発している点など、域内プロモーションにも力を入れている点を高く評価する。

最終年度となる令和4年度は、事業完了後の継続的な事業展開に向けて、大切な年となるため、持続可能な体制づくりに力を入れて欲しいと感じる。

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	寿都町	事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和3年度)			
2. 取組振興山村名	寿都町	令和2年度	令和4年度	令和3年4月2日～令和4年3月22日			
3. 事業費(うち国費)	10,012,875円(10,000,000円)						
4. 第三者氏名	株式会社コムズワーク代表取締役/農業生産法人コムズファーム代表取締役 竹ノ内 久		教育機関 関係者	産業界 関係者	マスコミ 関係者	農林水産業 関係者	消費者 その他
5. 事業評価							
総合評価							
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) ○専門家を交えた「風のバジルプロジェクトチーム」と関係団体との連携により、計画目標の達成に向けて計画通りの事業が推進されており、令和3年度の数値目標も達成していることから総合的にAと評価する。 ○最終年度となる令和4年度は、新規雇用者数2名の成果目標があるため、目標達成に向け意欲的に取り組んでいただきたい。					
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)重点指導対象				
① 取組状況							
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) ○バジルの販売拡大に向けて、近隣自治体への販売展開や、札幌圏における試験販売、イベントへの出展等積極的なプロモーション展開がなされているとともに、新たな商品として2品を開発していることから、目標の達成に向けて、適切な取り組みが行われており、Aと評価する。					
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)重点指導対象				
② 事業実績							
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント) ○初年度の目標として掲げた3つの目標のうち、2つが100%以上の達成(商品開発数、新特産品の販売額)、1つが50%の達成(バジルの年間生産量)であることから、事業評価の評価の考え方からA判定と評価する。 ○バジルの年間生産量については、バジル栽培ハウスの増設を前提とした指標であり、政策的な面もあるものと考えられるため、指標の再設定が望ましいと考えられる。					
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)重点指導対象				
③ 実施体制							
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) ○寿都町産業振興課が主体となり、専門家を交えた「風のバジルプロジェクト」チームにより、明確な目標を関係者間で共有し事業を推進しており、事業の取組体制としては十分に機能しているものと評価する。 ○ジェノベーゼソースの地元民間事業者への製造依頼や、民間事業者独自のバジルを使用した商品開発の取り組みなど、域内での加工、販売の取り組みが見られることも高く評価する。					
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)				
④ その他							
○域外への製造委託となるOEMだけではなく、極力域内で加工を推進している点において高く評価する。令和4年度は最終年度となることから、事業完了後も安定した市場流通の体制を整えていくことについて力を注いでいただきたい。							

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。

学識経験者等第三者について

寿都町

1. 第三者の氏名、住所 ① 氏名： 竹ノ内 久 ② 住所： 札幌市西区発寒11条3丁目6-3	3. 第三者の経歴 H12 株式会社コムズワーク 代表取締役 H25 農業生産法人コムズファーム 代表取締役 資格等 S62 一級建築士 S63 一級建築施工管理技士 H3 中小企業診断士 H26～29 北海道経済産業局「地域商業自立促進事業」審査員 業務経歴 H26 木古内駅開業を地域力向上事業調査 H27 三笠市高校生レストラン整備事業基本構想・基本計画作成 H28 むわか町地域特産品の活用に関する調査分析業務 H29 新得町地域商業自立促進事業 H30 三笠市中心市街地等活性化調査分析事業
2. 第三者に選定した理由 「まちづくり」や「モノづくり」の専門家として地域活性化を実践するコンサルタント(株)コムズワークの代表を務め、商品開発やマーケティングを専門領域としている。また、農作物の栽培から加工・販売までも手がける農業生産法人コムズファームの代表も務め、農業に関する専門家でもある。 農業及び商業の専門家として、本業務の目指す「特産品開発」「ブランド構築」に関する知識と知見を有しており、適切な評価とアドバイスを得られる。	

別紙2

(任意評価様式第3号)

令和3年度	事業開始 2年目	北海道寿都郡寿都町	寿都町
-------	-------------	-----------	-----

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

取組年度	商品開発数	商品改良数	販売商品数	新規雇用者数
令和3年度	2 (4)	0 (0)	2 (4)	0 (0)

※ 当該年度に開発等した数字を上段に、当該事業で開発等した総数を下段に括弧書きで記載して下さい。

○事業の実施状況

合意形成、組織づくり、人材育成等実績

- ・定期会合、個別打合せ協議等の随時実施
- ・先進地視察（千葉県南房総エリア～東京）
- ・事業運営計画のブラッシュアップ



視察の様子



付加価値向上等実績

- 商品化
 - ・乾燥バジル、・バジルソフトクリームの2品の商品化
- リパッケージ
 - ・バジル焼酎、フレッシュバジル2品のパッケージ変更
- 試作開発
 - ・ジェノベーゼソース、寿牡蠣に合うソース、バジル大福の試作



ジェノベーゼソース



寿牡蠣に合うソース

- ブランドプロモーション
 - ・札幌圏（イオンマルヤマクラス店）での実証販売



- ・三井アウトレットモール北広島のイベント出展



- ・SHIRIBESHI商談会出展



- ECサイト設計



○今後の事業構想

- ・令和4年度は、初年度から取り組んでいる「ジェノベーゼソース」の試作を継続、また寿都特産の「寿牡蠣」に合うバジルソースの開発を開発を行い令和4年度の商品化を目指す。また、域内外における更なる風のバジルブランドの浸透と、販路拡大に向け取り組む。

別添

(任意評価様式第4号)

参考資料（開発商品一覧）

寿都町

リパッケージ

・バジル焼酎
山の恵みマッチングでのバ
イヤー意見を受け、令和3
年度にリパッケージ



・フレッシュバジルパック
鮮度保持及び取り扱い向
上、ブランディングのため
のパックから袋に変更



商品開発

・乾燥バジル (50g、30g、10g、5g)



写真は50g と30g

・バジルソフトクリーム



○民間事業者独自開発
・バジルソルト



メディアスクラップ

令和3年7月13日 北海道新聞朝刊

令和3年7月13日
北海道新聞 朝刊

バジル焼酎 装い新た
寿都 緑のラベルにミニ瓶追加

「バジル」は、夏・健康効果が女子に人気のあるハーブで、寿都産のバジルは「バジル通信」として発信されています。

また、フレッシュバジルとして夏の楽しみとされ、寿都産のバジルは、新鮮なバジルの香りを活かして、焼酎の味をより引き立てています。

「バジル通信」は、バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。

「バジル通信」は、バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。

令和3年3月1日 イーハートヴ3・4月号

国のバジル通信

電気の振興と雇用の創出を図るため、令和2年度から通年型ハウスにおいてバジル栽培をモデル事業により実施しており、ハウスで使用する電気は、再生可能エネルギー（おバつのゆ風力）を使用し、環境にやさしいバジルの栽培を実現しています。

衛生観念などについて専門事業者から指導を受け、例年よりも、安心安全なバジルを栽培しており、品質においても各方面から好評をいただいています。

現在は、「バジル通信」をはじめとする商品の販売やバジルスーツなどの開発、新たな地域ブランド「国のバジル」として、ふるさと納税の返礼品に活用するなど積極的にPRを行っています。

フレッシュバジル
バジルは、夏・健康効果が女子に人気のあるハーブで、寿都産のバジルは「バジル通信」として発信されています。

また、フレッシュバジルとして夏の楽しみとされ、寿都産のバジルは、新鮮なバジルの香りを活かして、焼酎の味をより引き立てています。

「バジル通信」は、バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。

乾燥バジル
通年型で栽培されたフレッシュバジルを二つの工程で乾燥し、乾燥バジルとして加工しています。

乾燥バジルは、調味料としてさまざまな料理で使えます。フレッシュバジルにも負けない香りが特徴で、長期保存が可能です。

みなさん、寿都産のバジルの魅力を味わってください。

バジルソフトクリーム
バジルスーツのバジルの風味を、ソフトクリームで味わってください。

バジルスーツのバジルの風味を、ソフトクリームで味わってください。

バジル焼酎「森」へのこだわり
バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。

「バジル通信」は、バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。バジルの栽培・収穫・加工・流通に関する情報を発信しています。

令和3年9月 寿都町広報誌掲載

イーハートヴ
2022年3月1日

春の風吹く寿都町
名産続々、山海の美味集う

「イーハートヴ」は、寿都町の魅力を発信するための広報誌です。春の風吹く寿都町、名産続々、山海の美味集う。

「イーハートヴ」は、寿都町の魅力を発信するための広報誌です。春の風吹く寿都町、名産続々、山海の美味集う。

「イーハートヴ」は、寿都町の魅力を発信するための広報誌です。春の風吹く寿都町、名産続々、山海の美味集う。

別紙2

(任意評価様式第6号)

令和3年度	事業開始 2年目	北海道寿都郡寿都町	寿都町
山の恵みマッチング2022への参加実績			1：商品登録のみ 2：商談会参加 3：展示会参加

- 1：山の恵みマッチングWEBサイトへの商品登録のみ実施した
 2：第1回商談会（R3.11.4）又は第2回商談会（R4.1.21）に参加した
 3：東京ビッグサイトでの展示・商談会（R4.2.8～2.10）に参加した

○対象商品、参加状況等

- ・東京ビッグサイトでは、昨年度開発した「バジル焼酎」のサンプル提供及び、令和3年度に開発した「乾燥バジル」及び民間事業者が開発した「バジルソルト」を出品した。

○得られた課題や商談の成約状況等（成約や共同開発など販路拡大に繋がった場合は、可能な範囲で具体的・定量的に成果を記載すること）

＜商品への興味＞

- ・ブース内で最も興味関心を引いたのがバジルであった。立ち寄り者にパンフレットを持ち帰っていただいた。
- ・焼酎に関心を示すバイヤーが多く、特に通信販売系が多く感じられた。
- ・バジル焼酎の物珍しさ、香りの高さなど好評価であった。

＜今後の商談につながりそうなバイヤー等＞

- ・セレクトショップや食品メーカーからの関心も得られ、以下、特に今後の商談に繋がりそうな有力な事業者を記す。
 - ・三井食品株式会社（食品メーカー）
 - ・coto mono michi at TOKYO（セレクトショップ）
 - ・NTTグループテルウェル東日本（通信販売）
 - ・和来夢楽（通信販売）

○（参加後の）取組への反映・フィードバック状況、今後の取組方針等

- ・特に興味を持っていた、上記4件との商談を継続し、販売拡大につなげたい。